

北海道
大樹町

遊々の森 れきふね 「カムイコタン歴舟の森」 体験活動プログラム

教材編・指導者育成編

Forest For the Recreation
TEXT & MANUAL



林野庁
北海道森林管理局

はじめに

今日、大気汚染、酸性雨、オゾン層破壊、地球温暖化、森林の劣化・減少による生物多様性の危機などの国境を越えた多くの環境問題は、人類全体の未来を考える上で避けては通れないものとなっており、環境問題に関する正しい認識を持ち、対応能力を備えた人づくりが重要となっています。森林環境教育は、森林を通じた体験により自然や社会とのつながりなどについて知り、考え、理解を深めていきます。そして、持続可能な社会の実現に向けて、自ら考え、具体的な行動を実践する人づくりを行うことです。

十勝西部森林管理署では大樹町及び大樹町教育委員会と遊々の森協定（遊々の森「カムイコタン歴舟の森」）を結び、子どもたちがさまざまな体験活動や学習活動を行えるフィールドを提供し、関係団体と協力しながら森林環境教育に取り組んでいるところです。

この「カムイコタン歴舟の森」を積極的に活用していただくためにも、具体的な活動が行えるプログラムや体験活動を行うための手順を作成しました。教材編に示しているプログラム例や指導者育成編の具体例には、安全対策やプログラムを進めていく上で必要なポイント、その内容、プログラムを企画する上で検討内容や確認事項などを、出来るだけ記載するように心がけました。ここに記載されたことがすべてではなく、森林環境教育は参加者の要求や活動を行う時期、人数、年齢、これまでの体験している活動の有無などで、活動

形態は変わってきます。したがって、体験プログラムを行う方は、参加者の要求レベル等を十分理解してプログラムを作成することが求められます。そして、指導者が一方的に伝えるのではなく、子供たちとのふれあいを通して、柔軟な対応により活動を進めていくことが重要であると考えます。言い換えれば、ちょっとした工夫や視点を変えることで色々な活動へと展開していくことができるのです。具体的な例を元に積極的にアレンジして活用していただければと思います。

森林や林業、自然環境を題材にして森林内で活動を行う場合、そこに生息する動植物や林業について専門的な知識が必要になってきます。体験活動の内容を広げるためにも専門的な知識を持った方を積極的に取り込み、活動を通じて共に学んでいくことも必要になってきます。専門的な指導や専門家の紹介などについては森林管理署を窓口にご相談いただければと思います。

今後、この「教材編・指導者育成編」が「自然観察ガイドブック」とともに、体験活動を企画される皆さんのお役に立てれば幸いです。

そして活動に参加した子供たちが、森林を通じた体験により自然や社会とのつながりなどについて知り、考え、理解を深め、そして、持続可能な社会の実現に向けて、自ら考え、具体的な行動を実践するための一助になることを願っております。

CONTENTS 目次



1. 森林で活動するために知ってほしいこと 1

1-1 服装について	1
1-2 森林に潜む危険	2
1-3 北海道の森林について	3
1-4 国有林の仕事	4
1-5 フィールドマップ	5

2. 教材編 —活動プログラム8例— 7

活動プログラムのテーマと安全対策	7
2-1-1 森林に親しむ活動	
① 森の健康診断	9
② 森の住民観察	11
2-1-2 国産材の利用を促進するための動機付けとなる活動	
① 将来の木	13
② 森の利用	15
2-1-3 森林や林業への理解を深める活動	
① 木の成長を知る	17
② 森の環境を知る	19
2-1-4 森林内で可能な活動	
① 木の親子さがし	21
② 森づくり体験	23
2-2 活動プログラムに利用できる記録用紙例	25

3. 指導者育成編 26

3-1 実施手順について	27
3-2-1 実施手順【例1】	29
3-2-2 実施手順【例2】	33

1

Forest For the
Recreation
TEXT &
MANUAL

森林で活動するために知ってほしいこと

1-1 服装について

■水筒

熱中症や体力消耗を防ぐための水は欠かせません。なお、川や溪流などの生水はエキノコックス感染（林内はキタキツネの生息地）の恐れがありますので、水分補給は必ず持参の水筒の水を飲むようにしてください。



■雨具(カッパなど)

雨を防ぐのはもちろん、防寒対策にも使えます。

■服の色(ハチ対策)

ハチが敬意を見せる黒っぽい色を避け、周りから目立つ明るい色を選びましょう。



■応急セット



もしもの時の 応急処置に

■切り傷、スリ傷

傷の中から入り込んだ異物を水で洗うなどして取り除き、消毒してからガーゼを当てます。切り傷が出来た場合は傷口を圧迫して止血し、消毒してから絆創膏を張りましょう。

■目に異物が入った場合

手でこすってはいけません。必ず、水や目薬で洗い流しましょう。

■緊急の際は速やかに病院 で処置しましょう。

緊急!



■帽子

紫外線や熱中症を防ぎ、雨や草つゆで濡れるのを軽減してくれます。また、小枝などの軽い落物物程度のものなら、頭部の保護にも役立ちます。



■タオル

汗をふいたり、首に巻くと虫の侵入も防げます。色々と用途がありますので、一枚持っているのが便利です。

■長そで・長ズボン

ケガや虫さされを防ぐために長そで、長ズボンを着用しましょう。裾締りの良いものがベストです。



■手袋(軍手など)

切り傷、擦り傷などのケガを防ぐため、軍手などの手袋をしましょう。滑り止めのついたタイプならなお便利です。



■靴

履きなれた運動靴やくるぶしまで隠れた専用のトレッキングシューズ。ひもはきちんと結んでおきましょう。

1-2 森林に潜む危険

危険性が高く特に注意が必要な生物たち

■ウルシ類

ツタウルシやヤマウルシなどのウルシの仲間、触るとひどくかぶれることがあります。触らないようにしましょう。



ツタウルシ



ヤマウルシ

触らない!

■ダニの仲間

春から夏にかけて、山林や野原のササ、歩道や車道の草むらにもついています。肌が露出している所をかまれることがありますので、なるべく肌を露出しない服装を心がけてください。かまれた場合は病院で適切な処置を受けてください。



■スズメバチ

スズメバチは体長3~4cmと大きく、刺された場合には、激しい痛みとともに皮膚が腫れ上がり、最悪の場合、死に至ることもある大変危険な生物です。活動が活発になる夏から秋にかけては特に攻撃性が高まり注意が必要です。



- ハチは黒い色に反応しますので、白っぽい服装をして帽子をかぶりましょう。
- ハチは甘いものや香水のにおいに近づいてきます。香水をつけない、甘い飲み物にはしっかりフタをするなどしましょう。
- ハチは急な動きに敏感に反応します。出会ってしまった場合は、急な動きをせずに落ち着いて行動しましょう。「カチカチ」と威嚇音を発生するハチを見たら、いきなり逃げ出さず、目を合わさないようにしてじっとして、ハチが去ったら静かに後ずさりですの場を去りましょう。ただし、ハチから攻撃を受けた場合は、ハチは仲間を呼んで次第に増えるので非常に危険です。一刻も早くその場から離れましょう。
- ハチに刺された場合に備え、ボイゾンリムーバー(毒吸い出し器)、抗ヒスタミン剤(軟膏)を携帯すると良いでしょう。
- 緊急の際は安静にして速やかに病院で処置を受けましょう。

救急/119番

大樹町立国民健康保険病院

広尾郡大樹町晩町6番地2 TEL.01558-6-3111

緊急!

その他の危険

林内は傾斜地が多く、歩道沿いの崖や崩落地と接する場所などに立ち入り禁止のロープや柵が張られています。危険な場所には近づかないようにしましょう。また、枯れ枝などの落下物にも注意しましょう。

ヒグマについて

ヒグマは、本来むやみに人を襲うことの少ない平和的な動物ですが、その大きな身体と強い力は、人間にとってはとても危険な存在でもあります。ただそれは森林を生活の場にするヒグマにとっても同様で、人間はできれば会いたくない存在なのです。特に子連れヒグマは、我が子を守るために近寄る侵入者に対し、攻撃的になることがあり、さらに危険度が増します。

この遊々の森「カムイコタン歴舟の森」にもヒグマは生息し、遊歩道などの人間が利用する所にもフンが見つかることがあり、林内でヒグマに出会う可能性が十分考えられます。そうした、お互いが望まない思わぬ出会いを避けるために、森林に入る時は次のようなことに注意して、慎重な行動をとることが必要です。

ヒグマに出会わないために

●音を出しながら歩きましょう。

人の存在に気づくと、ヒグマは人を避けます。熊鈴(くますず)やラジオ、あるいは、声を出しながら歩くなどして人の存在を知らせましょう。



ヒグマのフン

●ヒグマの新しいフンや足跡、エサを食べた跡を見つけたら、すぐに引き返しましょう。

すぐ近くにいる可能性があります。

慌てずに落ち着いて引き返しましょう。また、事前にヒグマの出没情報が多く出ているエリアには、最初から立ち入らないことも大切なことです。

ヒグマに出会ってしまったら

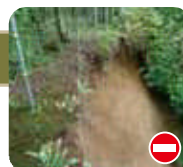
◆大声、走って逃げる、石投げなどは絶対にやめてください。

まずは落ち着くことが大切です。

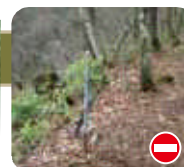
いきなり逃げるなどの行動をせず、様子を見ながら静かにゆっくりとその場から離れましょう。

◆ヒグマが近づいてきたら.....

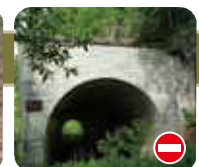
ヒグマの目をにらみつけてください。目をそらさずにヒグマの動きをみながらゆっくりと後退してください。この時、リュックや服などの持ち物をそと置いてヒグマの注意をそらすと、時間がかかります。ただし、置いてきた荷物を取りに引き返すことは絶対にやめてください。非常に危険です。



崩落した崖



急な斜面に設置した柵



トンネル

1-3 北海道の森林について



大樹町 遊々の森「カムイコタン歴舟の森」

全国の森林面積の22%を占める広大な北海道の森林

北 海道は、土地面積の71%が広大な森林に覆われ、全国の森林面積の22%を占めるなど、我が国を代表する豊かな森林を擁する地域であり、2005年に世界自然遺産に登録された知床半島をはじめ、原始の姿を残す貴重な自然環境が今も数多く残されています。

そのほとんどが亜寒帯林に属する本道の森林は、トドマツやエゾマツなどの針葉樹とミズナラやカンバ、イタヤ、ブナなどの広葉樹で構成される天然林、トドマツやカラマツ、スギなどの針葉樹を主体に植えられた人工林があり、四季折々に多様な表情を見せてくれます。

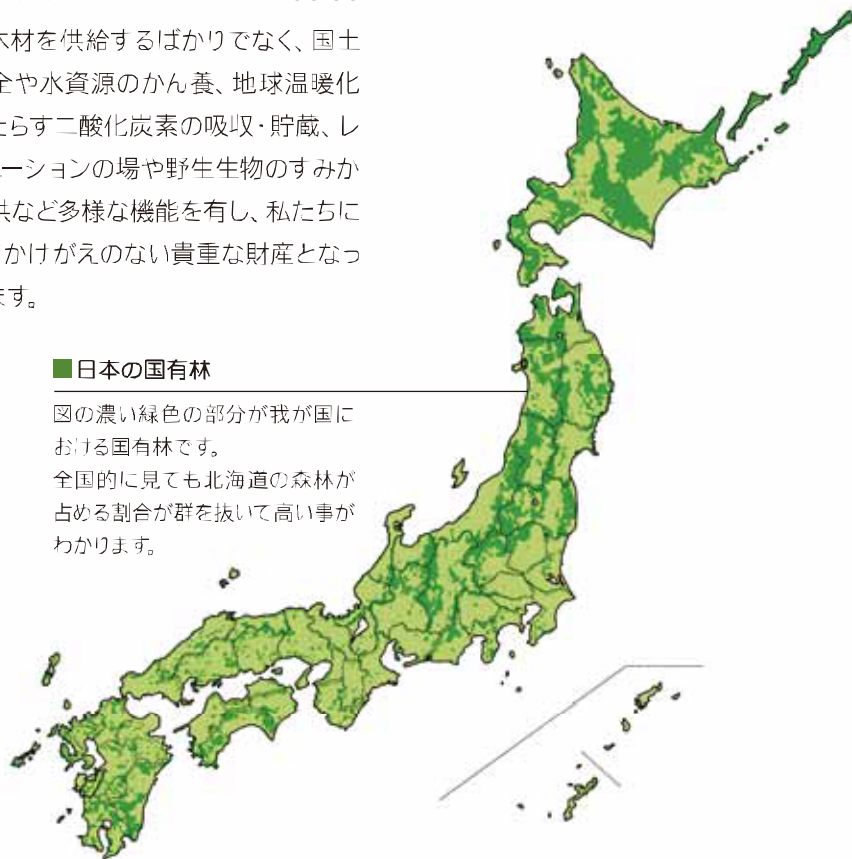
これらの森林は、住宅資材や紙の原料など私たちの生活に欠かすことのでき

ない木材を供給するばかりでなく、国土の保全や水資源のかん養、地球温暖化をもたらす二酸化炭素の吸収・貯蔵、レクリエーションの場や野生生物のすみかの提供など多様な機能を有し、私たちにとってかけがえのない貴重な財産となっています。

■日本の国有林

図の濃い緑色の部分が我が国における国有林です。

全国的に見ても北海道の森林が占める割合が群を抜いて高い事がわかります。

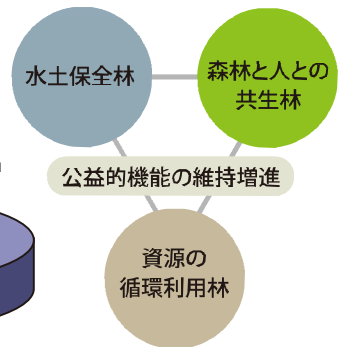
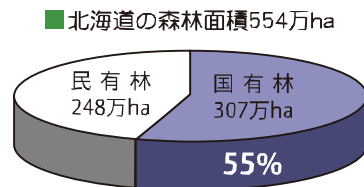


緑の大地、北海道。

1-4 国有林の仕事

北海道森林管理局が管理経営する国有林

北海道森林管理局が管理経営する国有林野は約307万ヘクタールで、北海道の森林面積の55%を占め、大雪山や日高山脈などの脊梁（せきりょう）山地の大部分を占めています。森林には国土の保全、水源のかん養、保健文化、木材生産など多様な機能がありますが、北海道森林管理局ではこれらの機能を、水土保持林、森林と人との共生林、資源の循環利用林の3つに区分し、公益的機能の維持増進に重点を置いた管理経営を進めています。



■森林の目的別機能区分

近年の主な取り組み (2011年)

●森林・林業再生プランの推進

北海道森林管理局の組織・技術力や資源・フィールドを活用し、北海道における「森林・林業再生プラン」の推進に主体的な役割を果たすため、森林施業の効率化、安定した木材の生産、木材の有効利用や利用拡大、人材育成などに取り組んでいます。



高効率作業機械導入のための現地説明会

●生物多様性の保全

国有林野は、原始的な天然林から人工林、湿原等多種多様な植生を有するとともに、希少種を含む様々な生物が生息・生育する「種や遺伝子の保管庫」となっています。また、国有林野は、農地、河川、海といった森林以外の生態系とも結び付いており、我が国全体の生態系ネットワークの根幹として、生物多様性の保全を図る上で重要な位置を占めています。天然林等を貴重な自然環境として適切に保護するために北海道森林管理局では、国有林の独自の制度による保護林を設定して、平成22年度には森林生態系保護地域の大幅な拡充などを行いました。また、地域住民との協働による自然再生の活動にも取り組んでいます。



地域住民による自然再生（大樹町植樹祭）

●エゾシカ対策の積極的な推進

エゾシカが森林生態系に及ぼす影響の実態把握、生体捕獲や、関係機関との連携などによる効率的な駆除に向けた様々な取り組みを行っています。



エゾシカを生体捕獲するための囲いワナ

●国民生活の安全・安心の確保

山地災害を早急に復旧し、安全で安心して暮らせる地域づくりに寄与するため、災害を防止する治山施設の設置や森林の有する公益的機能の1つである山地災害防止機能を高める保安林の整備等に取り組んでいます。



カムイコタン2の沢山腹工事（治山事業）

国有林は恒久的な管理運営のもと、
その豊かな自然環境を保ち続ける事が出来るのです。

1-5 遊々の森
「カムイコタン歴舟の森」
フィールドマップ

カムイコタン
 農村公園キャンプ場



道道光地園
 展田線

622

歴舟川

澤田水壩

コットン広場

遊々の森
 「カムイコタン
 歴舟の森」

森林浴コース

遊歩道
 合流地点

頂上

頂上広場
 標高300m



頂上広場の案内看板



頂上広場のベンチ



頂上広場

※頂上広場にトイレはありません。

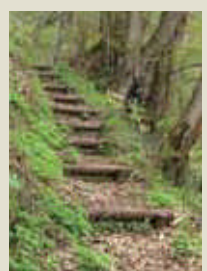


1.

森



遊歩道の様子



カムイコタン農村公園キャンプ場



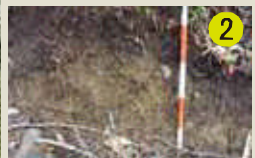
コタン広場のバイオトイレ



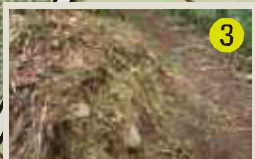
コタン広場



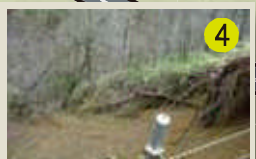
【地形・地質】露岩(基岩)



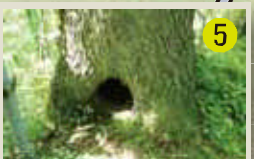
【地形・地質】森林土壌



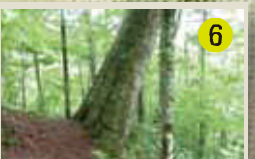
【地形・地質】堆積物・尾根の稜



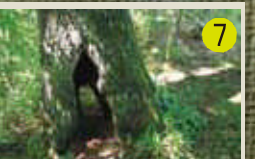
【地形・地質】崖崩れ・森林土壌



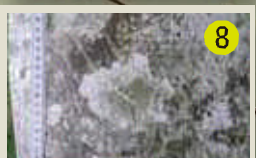
【樹木】うろ(樹洞)のある大木



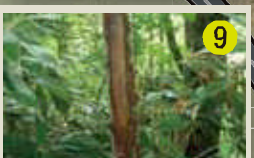
【樹木】ミズナラの大木



【樹木】うろ(樹洞)のある木



【痕跡】ヒゲマ爪あと(子グマ)



【痕跡】エゾシカ角擦りのあと



【痕跡】キツツキの食べたあと



【樹木】トドマツ芯ぐされ・凍裂



【樹木】トドマツ切り株(年輪)

遊歩道で見られる主な素材ポイント



頂上広場からの眺め

- 駐車場
- トイレ
- 遊歩道(登山道)
- カムイコタン歴舟の森エリア
- 保安林管理道
- 沢(溪流)

